

企業アンケート(大学・短大)

【対象】

本学学生を採用いただいた企業

【回収方法】

電話、メール及び企業訪問時にヒアリング

【意見交換】

- ・今後の選考では非言語、論理的思考、ストレス耐性を重視していく
- ・会社の看板となってきている卒業生が多く在籍している。今後も引き続き採用していく
- ・基本は入社してから教育していくので、スキルではなく、やる気をみて採用していく
- ・失敗を恐れぬよう大学時代にゼミ活動など多くの経験をしてもらいたい
- ・企業研究をもっとしてきて欲しい。自ら調べることの重要性を理解してもらいたい
- ・文系の採用を減らしていくことになる
- ・運動部に所属している元気のある学生を積極的に採用したい
- ・大学時代にアルバイトなど働く経験をしておくこととポイントが高い
- ・情報を学んでいる学生を積極採用していく
- ・オンラインになってしまうが、インターンシップや説明会などに積極的に参加して欲しい
- ・周囲の人と何かを成し遂げる経験をしてもらいたいのがコロナ禍で厳しい現状も理解する
- ・明るくあいさつができるといった社会人の基本となるものを大切にしていきたい
- ・簿記検定2級を取得している学生に応募を勧めて欲しい
- ・自己アピールを自信持ってできるように学生時代に多くの経験を期待したい

【今後に向けて】

コロナ禍の中で採用もどのようになるか不明な企業が多い。学生は自宅にいる時間が増える中で、オンラインを用いた説明会を実施、検討している企業が多く、学生も今後はオンラインに慣れている必要がある。製造業では採用数を減らす企業様が一定数あったが、この状況でも採用を増やすといった企業もあり、学生には早くから企業研究を勧めていきたい。コロナ禍であっても採用のポイントとしては、「素直」「熱意」が挙げられており、学生にも普段の生活からこの2つを意識した行動を促していく。

卒業生アンケート(大学)

【対象】

平成29年度卒業生対象(対象者432名)

【回収方法】

ハガキを全員に送付し、本学HP上にある卒業生アンケートから入力を依頼

【回収率】

7.2%

【アンケートの感想】

現在の状況に満足している卒業生からは、大学で学んだ経営学、会計学の知識を活かすことができていることや自分のやりたい仕事をやらせてもらっているといった回答があった。

一方、不満を抱えている卒業生からは、人出不足のため多忙となり人間関係が辛いことや残業が多いとの回答があった。

在学生に対しては下記のアドバイスが記載されている。

- ・会社が求めることと自分のやりたいことでギャップに苦しむことがあっても腐らずにやり遂げることが必要
- ・インターンシップに参加して企業の様々な情報を仕入れておくといい
- ・アルバイトを通して働くことの経験を学生のうちに経験しておくといい
- ・一般常識も重要だが一般教養を身に付けておくことが更に重要である
- ・敬語を使えるようにしておくことが大切

【来年度にむけて】

アンケートの回収率を上げるために卒業前に協力を呼びかけていきたい。

卒業生アンケート(短大)

【対象】

平成29年度卒業生対象(対象者84名)

【回収方法】

ハガキを全員に送付し、本学HP上にある卒業生アンケートから入力を依頼

【回収率】

6.0%

【アンケートの感想】

回答があった学生は全てが現状に満足している結果となっているが、うち2名はすでに転職をしており、転職先での業務に満足しているという結果である。在学生へのアドバイスとしては学生時代にExcel、Wordのスキルを身に着けること、ボランティアや課外活動に参加して多くの人と関わりを持つこと、メモをとる習慣に自ら行動する力が挙げられている。

【来年度にむけて】

アンケートの回収率をあげるために卒業前に協力を呼びかけていきたい